

長かった 2 学期がやがて終わろうとしています。さて、皆さんにとってこの 2 学期はどのような学期だったでしょうか。「中高生による人権交流集会」は大きな収穫をもって終えることができました。あと 3 日、文化祭に向けての最後の仕上げを頑張ってください。保護者の皆様も文化祭へのご協力をよろしくお願いいたします。

### 1 上中の誇り

10 年ほど前、木頭中で勤めていた時のことです。那賀川の源流で育樹活動をした翌日、思いもかけない一本の電話が学校にかかってきました。昨日の育樹活動の様子を見ていた観光客でした。話の内容は、子どもたちに話しかけるとさわやかで気持ちの良い受け答えであり、子どもと教師が実に自然に一生懸命作業している姿に感動したというものでした。こんなすばらしい子どもたちが学ぶ学校はどんな学校だろうかと、その方は 1 時間以上もかけてわざわざ木頭中の校舎を見に行かれたということでした。

先日の清掃の時間、私は運動場で作業をしていたのですが、清掃している生徒の姿を目にしたとき、ふと 10 年前のこの話を思い出したのです。時間一杯、手際よく、休むことなく黙々と清掃をする今の上中生の姿と 10 年前の木中生の姿が重なって見えました。昨年度から上中生は清掃や作業にまじめに取り組むと思っていきましたが、そのことを再確認させられました。

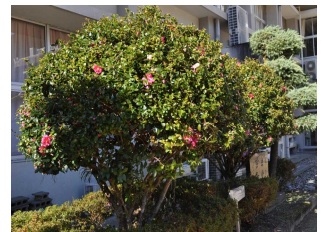
また、清掃や作業だけでなく、公共のために他とともに献身的に活動する上中生の姿はこれまでの水崎廻りや老人福祉施設、病院などでのコンサート活動で見えてきましたが、学校を離れての地域での活動でもそのような姿を見ることができました。それは 10 月のはじめにあった平谷小学校のファミリンピックです。競技への積極的な参加だけでなく、スタッフの一員として用具の準備や片づけを進んでしていることには本当に感心しました。卒業生として、地域の一員として活躍する姿はとても頼もしいものでした。

さらに、「中高生による人権交流集会」での皆さんの活躍は本当にすばらしいものでした。小松島高校での実行委員会と 17 日の本番で皆さんの様子を見せていただきました。皆さんの活躍ぶりはこれまでの引率の先生方からお聞きしていましたが、想像をはるかに越えるものでした。高校生のリーダーに勝るとも劣らない活躍でした。本番までに何回もの実行委員会に参加し、他校の中高生とともに、集会の成功を目標に積極的に活動したことは本当に意義のあることだと思えます。将来、生きてはたらく力になることでしょう。これらのことから、上中の誇りはまさに生徒の皆さんだということを確信しました。

まもなく冬休みが始まります。年末年始は家族の皆様と過ごす時間を大切にしながら、受験勉強に精を出してほしいと思います。

### 2 上中花だより

右の写真は 12 月 5 日に撮りました。保健室の前にサザンカが 2 本あります。樹名板には「サザンカ（ツバキ科）花は赤・白・ピンク、一輪に紅白まじりあり。」と解説されています。サザンカと聞けば思い出すのは童謡の「たき火」です。我々の世代ではこの童謡を知らない人はいないと思いますが、若い人たちにはもしかしたら知らない人がいるかもしれません。地球の温暖化の影響でしょうか。または、栄養の摂取状態が良くなったからでしょうか。平成の子どもたちにはしもやけを知らない人もいます。



#### たき火（2 番）

巽 聖歌作詞 渡辺 茂作曲

さざんか	さざんか	さいたまち
たき火だ	たき火だ	おちばたき
あたらうか	あたらうよ	
しもやけ	おててが	もうかゆい

12 月に入ると校門にあるイチヨウの落葉（らくよう）がピークになります。まさに童謡「たき火」の世界となりますが、今はたき火ができないのが残念です。

